

憲法の二大目的と比較する

日本国憲法		越谷市(仮称)自治基本条例	
前文	前文	(事務局案)	(副会長案)
<p>目的</p> <p>国民の 基本的人権を 守る</p> <p>三大原則</p> <ul style="list-style-type: none"> 一 国民主権 二 基本的人権 三 権力分立 <p>(第二の原理)</p> <p>手段</p> <p>国の統治機構は 国民の 自由と平等を 守るための 機関である</p> <p>9 改正 10 最高法規</p>	<p>1 国民主権</p> <p>2 戦争放棄</p> <p>3 基本的人権</p>	<p>VI 参加と協働 (B)</p> <p>V 市民 (B)</p> <p>VII 住民投票 (B)</p>	<p>グイジョン 越谷市の将来像 自治のあり方 市政ルール 基本的仕組み (A)</p> <p>市民の権利と責務 (B)</p> <p>情報公開 (C)</p>
	<p>4 国会</p> <p>5 内閣</p> <p>6 司法</p> <p>7 財政</p> <p>8 地方自治</p>	<p>II 市議会 (C)</p> <p>II 市長・行政 (C)</p> <p>IV 行財政運営 (C)</p> <p>I コミュニティー (B)</p>	<p>全体会一事務局</p> <p>運営調整委員会</p> <p>A 基本理念部会</p> <p>B 市民コミュニティ</p> <p>C 行政議会</p> <p>市民参画担当</p>
			<p>論点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目的と手段の同時進行は可か ・ 可能とするには ① 主題と副題に別けて相互提案 ② 選定を運営調整委員会で行う